



一般社団法人
地域福祉アロマケアラー協会

ニュースレター

2019年5・6月号

info : info@arocare.net



いつもお世話になっております。地域福祉アロマケアラー協会事務局です。すっかりご無沙汰となってしまいましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。お忙しい日々が続くかと思いますが、セルフケアの時間も大切にしながら”できる人ができる時に”活動をしていきたいですね。

遅くなってしまいましたが、当協会にて5月から6月にかけて実施されたイベント等の活動報告をいたします。この活動報告につきましてはフェイスブックの協会専用ページにて、このニュースレターとは別の視点からお伝えさせていただいております。フェイスブックを登録している方で、まだ会員専用ページをご存知ない方がいらっしゃいましたら、ぜひご覧いただきたいので、その旨を教えてくださいたいです。ご連絡お待ちしております。

2019年5月の活動報告



5月17日に岩手県高等学校教育研究会家庭部会において、県内の家庭科教諭向けに「大切な人へのアロマケア」と題し、栃内代表が講演を実施。事務局の佐々木さんもアシスタントとして同行しました。

今回は教諭が受講者であるだけに、メモを取る量が多く、普段とはまた違った熱心さを感じられました。

この講座では“香り”と“触れる”ことの大切さを中心に伝えました。受講された皆さんにもタッチケアなどを体験していただいたことで、この“香り”と“触れる”大切さに対する理解を深めていたようです。

併せて、発達障がいの方へのケアの事例も紹介した際には、保健室登校や不登校の生徒さんを想いながら受講されていた様子も窺えました。



出張セラピーでお世話になっている喫茶室木綿糸さんにて、初めてタッチケアを紹介しました。こちらは、5月27日に実施され、仙台支部の協会員である有坂さんの活動紹介になります。佐藤理事も同行しました。



おひとり約10分8名の方に体験していただきました。タッチケアが初めてという方がほとんどでしたが、皆さんからは、リラックスできたことや、服を着たままでできることの嬉しさなどといったご感想をいただきました。

香りはベルガモットとローズウッドを用意しましたが、8名の方がローズウッドを選んでいたので、疲労を感じていらっしゃった方が多かったように見受けられました。

タッチケアを終えた後はみなさん顔がパァ〜っと明るくなって笑顔になります。どこでも誰にでも簡単に癒しを提供出来るタッチケア、今回も触れる、触れられことの大切さを感じました。必要とする方にサッと手を差し伸べられる人でありたいと思います。この有坂さんの思いもとても素敵ですね。

2019年6月の活動報告

6月27日から28日の2日間にわたって **タ**ッチケアラー講座が会津若松にて開催されました。以前タッチケアを体験され、私もやってみてみたい！という思いから2名の方が受講されました。講師は福島支部の小林さんが務めました。

「ペルソナさんを思い浮かべてみましょう」と話したらニコリ笑顔になり、照れつつも取り組んでいました。講師の小林さんは、この大切な人を想う時の優しい時間が好きだそうです。



アクティブアロマの時間は精油の活用方法のみならず、生ハーブのミントをちぎって香りを感じたり、楽しみながら過ごしたようです。

タッチケアは二人で相モデルで練習に励み、発表の際には、癒しの手を意識して優しく心地よいマッチングをされていたそうです。ペルソナさんに対してタッチケアを考え疲労され、優しい気持ちが伝わり癒されました。